

電子複写不可

昭和二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三九

パラワン憲兵分隊業務書類綴

防衛
590

防衛研修所戦史部

係	任主	長 址 長

比憲高第六一三號

情報

抗日國民軍ノ抗日教材並同宣傳
治具料

住居 又エバエシハ州カバナツアン断スマカブ部落

元中學生 アズノホホーテスター

富三十二年

右ハ本年五月初旬抗日國民軍第七中隊長
アマドゼンターナノ部下デームマランダ(ハ又此也)

先送 軍ハ防司、機造部
ハ功茂本河野、高橋
土田各部隊
艦司 隊下乙

昭和八年
カバナツ
高英分
ツン分探
長 日
月 日
年 月 日
號 冊

註 此種謀略ハ比島最初ノモノニシテ 部隊等ニ於ケル
比人使用増加ノ現況ニ鑑ミ 嚴ニ警戒ヲ要ス
ルモノアリ

止シ得タリ
ニ毒物ノ狀況
該毒物ハ目下野戰病院ニ依拠シ鑑定中
ナルス之ニ使用セル容器ハ米國製賣藥「ロ
タミン」B五月入ノ空瓶
毒物ハ鉛色ヲ呈スル溶液(「イペリット」ヲ薄シメ
タル如キモノニシテ「無臭」ニシテ 瓶底ニ未だ解
ノ白色結晶體ヲ認め得タリ

戦スル事一テアル 彼ノ社会主義者力独逸
 ノコナケシスニ抗シテ居ル様ニ歐洲亞佛利加
 印度支那那ハ闘ハネハナラヌ 我々力日本ニ抗
 戦スルコトハコナケシ独逸ヤコフアリス止印太利
 ニ抗戦スルト別テハナラヌ

我々力戦ノ事一ハ我々ノ自由ノ為テアルニ
 ナク全世世界ノ及國粹主義ニ等與ス事ニアル
 日本ハコナケシコトアリユニヤシ東南太平洋ノ敗戦ノ極度
 ニ秘密ニシテ外國ニ知ル事ヲ再交ヒテイル 日本ハ抗戦シテモ
 何ニモナラズカリノ比自投降セヨト謂フテアルソレハ我々ヲ騙シテアル上
 ニ我々ヲ脅迫シテアルニケアル 我々ノ任務ハ全労働者農民
 カ母國ノ為ニ團結ヲ鞏固ニシテ戦フコトアルソレカ為ラハ臨
 機應変主義者ヤ親自看ヲ無クシテ了ハネハナラヌソレテ
 ソレテ我々カ比律賓島ノ自由ノ為ニ盡サントハナラヌ

抗日華僑萬歲

比律賓共產黨

比律賓國

全農民

全國粹主義者ト闘フ諸君へ

日本ノ宣傳ニ乘ル勿レ

比島ニ侵入セル日本軍ハ比島ノ總ララ章中ニ攻

メントホストトヤ宣傳ビラヲ撒布シ暗躍

シテナル我々ハコナケシ宣傳ヲ盲信シテハナラナイ

何故ナラハ日本軍ハ比島独立ヲ阻害シテイルカラ

テアルカ證據左トシテ日本軍ハ毎日部落等

ニ行ツテハ住民ヲ捉ヘ教會ニ閉込メ夜間ニ至

ル迄敵宅ヲ許サヌ又住民ヲ殺受次第捉ヘ

一曰本軍ハ何時ニ動物ノ様テ平ニ合ハナイ然レ其レニ
 對スル我々仕方ハツ有ル
 日本軍ハ色々手段ヲ以テ我々ノ住所ヲ知得セトシテ
 居ル彼等ハ國家ヲ裏切ル隣組ヲ組織シ其レヲ手
 先ニ利用シテイル
 二曰本軍ハ隣組ヲ通シ彼等ノ逮捕スル者ヲ見付
 ケ出シテ居ルメテアル
 三曰本軍ハ我々ヲ逮捕スル密偵ヲ出シ其ノ密偵ハ高

不ハナラナイノヲアツテ之ニ因リ初メテ我々ノ自由ナ
 政權カ生レルノテアル
 比島人ヨ立テ母國ノタメニ

打倒國粹主義我日本

一曰本軍ハ何時ニ動物ノ様テ平ニ合ハナイ然レ其レニ
 對スル我々仕方ハツ有ル
 日本軍ハ色々手段ヲ以テ我々ノ住所ヲ知得セトシテ
 居ル彼等ハ國家ヲ裏切ル隣組ヲ組織シ其レヲ手
 先ニ利用シテイル
 二曰本軍ハ隣組ヲ通シ彼等ノ逮捕スル者ヲ見付
 ケ出シテ居ルメテアル
 三曰本軍ハ我々ヲ逮捕スル密偵ヲ出シ其ノ密偵ハ高